

非住宅木造建築物の建築拡大に向けた人材育成と施主の理解醸成

これまでの取組と成果

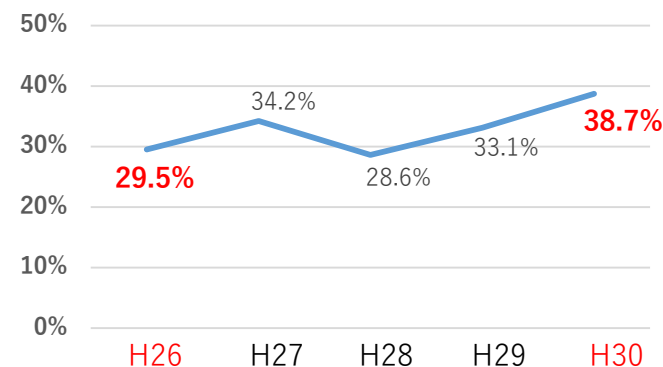
◆非住宅木造建築物とCLTの普及促進

- 普及活動(フォーラムの開催やパンフレットの作成等)による施主への理解の醸成
⇒県内CLT建築物:完成19棟、設計・施工中13棟(R1.11現在)
- OA材を活用した木製品の開発
⇒構造用木製品の開発(3製品)、木製品の開発(7製品)
- 設計費、建築費への支援(補助)
⇒鉄骨造(S造)が木造に変更される事例
- CLTで地方創生を実現する首長連合
⇒令和元年度、全都道府県でCLT建築物が整備が実現

◆建築士の育成

- 林業大学校(短期課程、リカレントコース)の開催
⇒短期課程受講者数延べ111人
- 建築事例を通じて蓄積した技術やノウハウを普及する技術セミナー・研修会の開催
⇒ CLTに取り組む県内の建築士や施工業者が増加
(設計者:6事業体 ⇒ 16事業体) (施工関係者:2事業体 ⇒ 15事業体)

高知県における非住宅建築物の木造率(棟ベース)



CLT建築物(県立林業大学校)



木製品の開発(A型トラス)

全国の木材利用の動き

■経済同友会

- 地方創生に向けた“需要サイドからの”林業改革(H30.3)
- 木材利用推進全国会議の設立(R1.11)
・参加企業団体 324団体

■全国知事会(国産木材活用PT)

- 国産木材需要拡大宣言(R1.7)
- 建築基準法の改正(R元.6月施行)
○耐火構造とすべき木造建築の対象の見直し(緩和)など

木材利用に向けた、全国的な機運の高まり

課題

- ◆建築士等のさらなる人材育成
- ◆全国の施主や建築士にCLTや木造建築に関するさらなる理解醸成
- ◆需要拡大を後押しするさらなるサポート環境の充実



建築士等及び施主に向けた戦略的アプローチ

木造建築に精通した建築士等の育成

◆木造建築の普及促進

- フォーラム、技術セミナー、見学会の開催(県内・県外)
- 全国の建築士団体等との連携による建築士の育成
- ※非住宅木造建築物に取り組むための入口として開催
⇒林業大学校へ誘導

◆林業大学校

- リカレントコース(スキルアップに必要な内容を自由に選択)
- 首都圏における木造設計集中コース(中大規模木造建築の設計スキルを効果的に習得)

施主の木材利用に関する理解醸成

◆全国団体・自治体との連携

- 経済同友会等との連携による施主の理解の醸成
- 土佐経済同友会と連携した木造建築事例の拡大
- 日本CLT協会等との連携による普及促進

◆個別の営業活動(TOSAZAIセンターとの連携)

- 企業、自治体へのプッシュ型の営業活動、具体的な提案活動
- 希望企業での勉強会の開催(木の良さ、木造建築の特徴)

サポート環境の充実

◆設計支援

- 非住宅木造建築物への設計支援
- TOSAZAIセンターとの連携による設計支援

◆新たな技術の推進

- 集合住宅の木造化、ハイブリット(RC・S造+木造)の建築物の推進
- 技術・ノウハウのさらなる収集及び普及
- TOSAZAIセンターに設置するプラットフォームを活用した新商品の開発

今後の展開

高知県の取組を全国へ発信・展開(林業大学校のカリキュラムの提供等)

木材利用推進全国会議の活動を通して、各都道府県の経済同友会、行政が連携し、CLTをはじめとする木材を活用した建築物の整備を加速度的に推進



国産木材の需要拡大に向けた取組の全国展開



・全国各地で木が活かされ都市も地方も潤う社会を構築